

市立図書館のあり方見直しについて【概

◆新たな図書館の出現

これまでの図書館枠を超えた、新たな図書館の誕生

- 千代田図書館(千代田区)
- 武蔵野プレイス(武蔵野市)
- シリウス・中央林間図書館(大和市)
- 伊万里市民図書館(伊万里市) など

4 沿革と現状

(1) 図書館の沿革

- 1958年 町田市立図書館開館
- 1972年 町田市立図書館移転(現さるびあ図書館の場所)
- 1972年~1983年 分館整備(鶴川・金森・木曾山崎・塚)
- 1990年 中央図書館開館
- 2012年 鶴川駅前図書館開館
- 2015年 忠生図書館開館

(2) 施設の現状 … 表参照

(3) 利用状況

①来館者数と認知度

- 中央図書館来館者数 約65万人(2016年度)
- 認知度 この1年間に図書館を利用したことのある市民は47.3%、知っているが利用していないと答えた43.3%を合わせると、市民の9割が図書館を知っており、図書館の認知度は極めて高い。
*「2017年度町田市生涯学習に関する市民意識調査」

②登録者数(町田市民)の推移

2012年度は鶴川駅前図書館の開館を契機に104,008人と10年間で最も多い登録者数となった。2015年度には忠生図書館が開館したが、99,534人であった。



③個人貸出数(図書・雑誌)の推移

2012年度は鶴川駅前図書館の開館もあり、約412万冊と10年間で最も多い貸出数となった。2014年度はシステム更改の関係等で開館日数が減少したため貸出数も減少し、2015年度には忠生図書館が開館したが、2012年度を上回ることはできなかった。



(4) 全国の中の町田市

人口40万~50万人未満かつ自治体面積100km²以下の9都市比較

- ◇全体 ○図書館数: 3位 ○蔵書数: 4位 ○貸出数: 1位
- ◇市民1人あたり ○蔵書数: 4位 ○貸出数: 1位
- ◇1館あたり ○人口: 4位 ○自治体面積: 4位
- ◇体制・経費 ○職員数: 1位 ○経常費予算: 1位